

誹謗中傷をなくし共に支えあいながら新型コロナウイルス感染症の克服を目指す  
決議

現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速な感染拡大が進んでおり、本市でも11月中旬から感染者が急増しております。その中であって市民は、細心の注意を払いながら感染拡大の防止と社会経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先、医療・福祉関係者等に対し SNS 等の媒体による匿名での心無い誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索する事例などが県内でも発生していることは憂慮すべきことです。

これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できません。また、コロナ禍を契機として、鶴岡市民が長い間培ってきた「あつい民情」を失ってしまうことは、大きな損失であり、何としても防がなければなりません。

新型コロナウイルスは、気付かないうちに誰もが感染する可能性があります。今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であって感染者を誹謗中傷することではありません。医療・福祉従事者はじめ多くの方が困難な状況の中で頑張っています。今こそ、私たち一人ひとりが、共に支え合うことが何よりも大切なことです。

本市議会としては、誹謗中傷の根絶を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症関連の諸課題に真摯に取り組んでまいりますので、市民の皆様におかれましても、共に支え合いながら、この困難を乗り越えてまいりましょう。

以上、決議する。

令和2年12月7日

鶴岡市議会